

春季岐阜県大会 入場者の制限について

本大会は、今年度開催予定の第68回東海総体軟式野球競技への出場校（2校）ならびに第66回全国高等学校軟式野球選手権岐阜大会のシード校（3校）を決定することを目的としています。万が一、大会関係者・学校関係者が感染した場合でも、クラスターを発生させない対策として、下記のとおりに入場者を制限します。

（1）入場対象者及び入場者数の上限

日本高野連の春季大会運営の基本的な考え方及び昨夏県独自大会・昨秋季大会での感染症対策の成果、秋季東海大会における条件付き有観客試合の運営の経験等を踏まえ、本県では、今春季大会を**学校関係者等のみによる一般観客を入場させない無観客試合とします**。入場者数は、1チーム**150名**以内を原則とし、県の規定及び使用施設（会場）が示す上限を超えない人数とします。なお、この人数の上限を変更する場合は、感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら検討し、速やかに各高校に周知していく予定です。

回戦	施設（球場）に入場できる学校関係者とその人数
1回戦から決勝まで （球場で実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般観客の入場は認めない。（※1） ・下記①～③の合計で1チーム150名以内とする。 <p>なお、入場人数は、上記に関わらず、県の規定及び使用施設（会場）が示す上限を超えてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ベンチ入りするチーム関係者 24名 ② ベンチ入りしない控え部員 ③ その他学校関係者（学校職員・野球部OB会メンバー・野球部後援会メンバー・野球部関係者（チームトレーナー等）・部員の保護者及び家族・当該学校の一般生徒）（※2）

※1 別添、日本高野連「都道府県連盟 春季大会新型コロナウイルス感染防止対策大会運営の基本的な考え方」の【有観客試合】有料試合**X案**を採用。ただし、軟式野球は有料ではなく無料試合。

※2 ③その他学校関係者の入場については、昨秋季大会同様に、学校管理下で責任教師が全員の健康状態、連絡先を把握し、入場前に大会本部へ入場者名簿を提出。**事前登録制とする**。

（2）入場制限対象者

学校関係者であっても、以下の方は施設（球場）に入場できません。

ア. 過去1週間以内から来場日までに本人あるいは家族に下記①～④を含む体調不良のある方

- ① 体温37.5℃以上 ② 強い倦怠感 ③ 咳、咽頭痛、息苦しさ等
- ④ 味覚・嗅覚異常などの異変がある

イ. PCR等検査陽性歴があり、かつ下記①～④に該当する方

- ① 有症状者では、発症日から10日未満、かつ、症状軽快後72時間以内
- ② 症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔を空け2回のPCR検査で陰性を確認できていない
- ③ 無症状病原体保有者で、陰性確認から10日未満
- ④ 検体採取日から6日間経過後24時間以上の間隔をあけ2回のPCR検査陰性を確認できていない

ウ. その他、以下の①～⑥に該当する方

- ① 濃厚接触者として自宅待機中
- ② 家族が濃厚接触者として自宅療養中
- ③ 海外から帰国（日本に入国）して14日以内
- ④ マスク非着用の方
- ⑤ チームの「試合・大会チーム同行者 検温確認表」または各球場（市町）用の健康チェック表に、氏名、連絡先等の必要事項の記入に協力いただけない方